

学習緑

— “みどりの学習ヒント集” 作成中！ —

みどりのフォーラムにひっそりと展示されていたこの冊子、ご覧になられたでしょうか。

子どもたちにみどりの大切さを伝えたい、という思いから、学習緑班では小学校5・6年生がわかるような“みどりの学習ヒント集”を作成中です。皆様の知識、経験などみどりに関することを子どもたちに伝えてみませんか？原稿大募集中です！事務局までお願いします！

地域緑

— 地域緑のマップづくり実施しています —

地域緑では、地域緑ツアーを企画して、みどりの活動をしているところを見学したり、みどりに関すること等を地図にマークして地図を作成する地域緑マップを作成しています。

これからはグリーンカルテの作成に取り組んでいこうと思っています。グリーンカルテとは、みどりの団体を紹介した資料を冊子にしたものです。

豊中みどりの交流会

-こんな活動やっています-

隙間緑

— 「B班の取り組み」 —

隙間空間のみどりや花を増やすことを目標に、緑化可能な隙間を探したり、緑化のためのヒントを探したり、また実際にモデルケースとして緑化を実践したりと、身近なみどりや花を守り育てる活動を行っています。

平成18年度は、ある自治会館の前庭をモデルケースとしてみどりや花を植え、緑化の再整備を実践しました。また平成19年度は、花苗を種から育てる実証実験を行い、育苗のためのヒント探しを行いました。

情報緑

— みどりの情報発信しています —

10月21日(日)、昨年に引き続き“みどりのフォーラム”を開催しました。今年は、小学生有志によるゴーヤの生長記録や日除け効果等の発表があり、参加者の強い関心をひきました。

フォーラムでの講演者・二見恵美子さんに後日インタビューしました。「地球温暖化進行は、すでに危機的状況にあります。」という示唆的な言葉に“一人ひとりが今すぐ行動を起こさなければ”と実感しました。



豊中みどりだより第3号 特集「豊中みどりの交流会 2007(みどりのフォーラム)」

豊中みどりだよりは、みんなで、どンドン、りよっか(緑化)しよう!という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。



Toyonaka Green Action

箕輪小学校児童感想文
「豊中みどりの交流会2007」に参加して
僕達ゴーヤ探検隊は、ゴーヤの成長を観察して発表しました。最初、舞台に出た時や発表している時は緊張したけど、うまく出来て良かったです。発表の後、質問がいろいろ出たけどあまり答えられませんでした。終わった時、会場の皆さんが拍手で送ってくれたので嬉しかったです。大人の話は、あまり意味が分からなかったけど、緑のまちづくりをしよう!と頑張っている人達がいることがわかって良かったです。



かたつむりのひとりごと

千利休が客人のために庭先の掃除を息子に命じた。
息子が終わったと告げると「まだ綺麗ではない」と言ってやり直しを命じた。

息子は敷石を三度も洗い、石灯笼や庭木には充分水を、木の葉も全て掃き清めたが、利休は「露地の掃除はそのようにするものではない」と言って庭に下り、木をゆすると、庭一面に黄金の葉が散り、あちこちに秋の錦を敷いたようになった。

利休が求めたのは単なる清潔ではなく、「自然の美」である。



最近、日毎や昼夜の温度差の幅が大きく広がり、ますますO₃の排出抑制と吸収源となる「みどり」の増加が求められる。みどりのフォーラムの来場者アンケートによると、多数の人が、二見さんの人柄、生き方等のカッコ良さに感銘を受けたようで、今回の仕掛人としては大満足。これを忘れることなく、さらに広げるために、この誌面で伝えることとした。

(編集委員 K)

豊中みどりの交流会 (全体会のご案内)

次回は、下記日程で開催します。

ふるってご参加ください

■日時：2008年2月17日(日) 10:00~12:00

■場所：花とみどりの相談所

■内容：活動の推進体制について



豊中みどりの交流会 2007 を開催しました

■「ひろげようみどりの和」をテーマに10月21日にすてっぷ(エトレ豊中5F)で開催しました。おかげさまで、140名の入場者があり、盛況のうちに終えることができました。

- ▼講演：「一鉢から始めよう、みどりのまちづくり」：二見恵美子さん(環境デザイナー・京都光華女子大学客員教授)
- ▼事例発表：豊中みどりの交流会、箕輪小学校、まちづくり協議会そね21の会、豊中駅前まちづくり推進協議会
- ▼パネル展示：箕輪小学校、豊南小学校、豊中緑化リーダー会、まちづくり協議会そね21の会、豊中駅前まちづくり推進協議会、アジェンダ21、島熊山緑地協議会、竹炭塾、豊島北ビオトープクラブ、ローズマリー、親和自治会、松下電器産業、高尾鉄工所、豊中みどりの交流会、豊中市
- ▼その他：写真アート展、花苗の植え付け体験等

二見恵美子さん

特集：豊中みどりの交流会2007

基調講演概要「一鉢から始めよう、みどりのまちづくり」

■私のランドスケープ■

環境とか景観とかが重要と思ったいきさつは、イギリスに5年間留学したことが縁になりました。ランドスケープとは、自然をあるがままにデザインしていくということです。自然をそのまま生かしながら「人も動物も大きな環境の中で生きている」このことが基本になります。

■事務所の屋上庭園■

私は20年前、独立事務所をちょうど大阪の船場の中に持ちました。大正時代、84年前に建ったビルですが、中庭がありまして、回廊がある周りにひとつひとつお部屋があり、建物的にはすごくすばらしい建物なのですが、とても勿体ない使い方をしていました。そこで、中庭を緑化し、これと連動して屋上庭園をつくりました。ビルは入居待ちが出るほど人気者になりました。古い良い建物でも、修復すれば、価値が上がります。古い良い建物でも、修復すれば、価値が上がります。古い良い建物でも、修復すれば、価値が上がります。

■中之島のこと■

今、大阪市内の中之島が変わりつつあります。6年かかる大工事です。この景観プロデュースもしています。最初から汚い騒音がする怖い工事現場ではなく、緑化を施したりして、人にやさしい工事現場にしたいと思いました。さらに仮遊歩道にも自然素材を使いながら緑化をしています。公会堂のレンガのイメージに合わせて、天満橋からロイヤルホテルまでの3kmの塀の色も全部同じ色で統一しています。この工事現場も隙間から下を覗くと、中がすべて

見えるようになっていきます。ここは「見せる工事現場」というコンセプトです。

■OCATの屋上庭園のこと■

OCATは、大阪の南の湊町にあります。8年前デザイン設計しました。その一部に、一般市民の方と作った庭があり、私は毎月一回、指導に行っています。皆さん活動を続けていて、今すごく良い感じになっています。ここで育った皆さんは、現在、和歌山、京都、奈良など近畿地方で活躍して下さっています。ここで学習したことを地域活動として広げています。こういう活動は18年目になります。

■緑の大阪へ■

大阪24区が交流していくことがすごく大事です。緑がヒートアイランド現象をどれだけ抑えているかを知って頂いて、緑いっぱいのお手本になって、市民を一つに束ねて下さい。豊中市は一つにまとまる事ができると思います。OCATもそうですが、なにかプロジェクトをする時は、モデルケースに



みどりのフォーラム（感想）

- 交流会の集いに何時か参加したいと思っています。
- 小学生の「ゴーヤ」を育てた体験、私も来年はゴーヤをと思っています。
- 本日の市長のあいさつの内容は、言葉で発する前に実行で示して下さい。
- 熱意が感じられ、すばらしい。
- みどりの中に少しの花をと言われた事がとても印象的でした。
- ご発展を！いつか参加できる日を！
- 豊中市並びに熱心な市民の皆さまの活動は素晴らしいものがあります。
- グループ発表も分かりやすくとても良かった。
- 交流会の方々の実行はすばらしいと感じます。市として出来る限りのサポートをして下さい。
- 講演時間をもう少し長くしてほしいです。
- スクリーンを使用されたので、具体例の多くの情報を得ることができました。

（スタッフ・実行委員会より）

本年も無事フォーラムを終えることが出来ました。これらも、ひとえに皆さまの活動に支えられることが多く、誠にありがとうございました。

来年も、益々盛況となるよう精進して参りたいと思います。

来年も、こうご期待！

二見恵美子さんにお聞きしました。 ～豊中みどりの交流会メンバーがインタビュー！～

フォーラムでご講演頂いた二見恵美子さんにさらにインタビューしました。

Q：ボランティア活動への声かけ、続けていくためのポイントは何でしょうか？

二見さん：ケース・バイ・ケースです。ボランティアを志す人たちが、どんなことを求めているのかによって考えましょう。ひとついえることは、皆何か自分の存在感を求めて、来られていてと思います。それに対してどう答えてあげられるかということも大切なことです。植物をさわることは、開放感、あるいは無心になってリフレッシュする楽しさがあるのではないのでしょうか。

個人の資質にもよりますが、それは人間模様を見るようですね。わがままな人だったり、ボランティアの精神を理解していかかったり。その中で、自然に湧き上がってくるような喜びを感じていただけたらと思います。「ボランティアに行くと、なぜか上下関係ができてきてしまう。」と愚痴をこぼす人も居られます。小さなことは解決して、大きな理想と夢

を画けば、きつと楽しくなるのではないのでしょうか。

OCATの場合、4600㎡の内、50坪だけ区画をして養生させていた。一年間は何もせずに、寄せ植えの講習会を行い、一年後に、有志を募ってボランティア活動をやってもらいました。つまり、一年育てることで、レベルを揃え、上下関係がでないように工夫しました。

また植物を介するので、やさしい気持ちになられるようです。この庭は自分の庭だと思つと、手入れも苦にならなくなるのでは。幸いにもOCATでも御堂筋でも、皆さん気持ちよく、ゆずりあつてボランティア活動されています。

Q：「豊中みどりの交流会」への応援メッセージがありましたら、お願いします。

二見さん：豊中市は熱意があり、また民度も高いと感じます。大阪のお手本になって、市民を一つに束ねて下さい。豊中市は一つにまとまる事ができると思います。OCATもそうですが、なにかプロジェクトをする時は、モデルケースに



なることを望みます。最終的には、大きな目標・夢があれば、不可能なことでも、実現できるよと声をかけている。持続可能な開発にして、10年後、20年後、豊中市が大阪府を引っばつて行けるようにがんばってもらいたいです。

インタビューを終えて

二見さんに「豊中市は熱意がある」と言っていたとき、身の引き締まる思いです。また、これからの講演で我々「豊中みどりの交流会」を紹介したいとも。期待に応えられるように、より一層、がんばっていききたいと思っています。

- 二見 恵美子 さん（環境デザイナー・京都光華女子大学客員教授）人間も植物・建築も宇宙の自然の一部です…。ランドスケープの基本を大切に自然と調和した景観づくりを追求します。人と地球にやさしい環境づくりを目指しています。今や地球は危機的モードに突入しており都市の環境改善（屋上緑化・壁面緑化・水質改善緑化）を本気で取り組まなければ我々の子孫が生きのびられない時代になりつつあります。
- ◆現在進行中のプロジェクト：大阪中之島水都再生工事
- ・朝日放送新社屋緑化計画
- ・福祉施設（環境園芸療法による回復）
- ◆主な著書：二見恵美子の「LANDSCAPE STYLE」パ・ルック出版（2007.5）/空中庭園「都会を森に」タイム出版（2005.5）「樹と花のガーデニング」ひかりのくに（2000.4）

